厚木ロータリークラブ週報

JAPAN　第2780地区

Atsugi Rotary Club Weekly

会　　長　小林　透
副 会 長　髙橋　宏
幹　　事　西迫　哲
副 幹 事　黄金井 康巳
会報・IT　滝澤　勇

Peace Through Service 奉仕を通じて平和を

奉仕を通じて平和を

2012～2013　国際ロータリー会長　田　中　作　次

例会場　厚木商工会議所 5F　大会議室
例会日　毎週火曜日　12：30～
事務所　厚木市栄町1丁目16番15号　厚木商工会議所内

http://www.atsugi-rotary.jp　メールアドレス info@atsugi-rotary.jp　TEL.046-222-5811　FAX.046-222-5821

第2558回例会（4月23日）☆司会　鈴木茂男 副SAA

点鐘　…小林　透会長

斉唱　…それでこそロータリー

会長報告

◎ガバナー事務所より

・広島平和フォーラム［緑の遺産］植樹についての案内

幹事報告

◎例会変更

・綾瀬春日ＲＣ
　5月 1日(水)→休会（クラブ定款により）
　5月15日(水)→移動例会（職場訪問）
　㈱ベレイマージ
　　綾瀬市大上1-27-14　TEL 0467-79-7488
　5月22日(水)→23日(木)夜間例会

スマイル

壽永純昭君

本日“結婚記念日当日賞”です。お陰様で妻も息子も元気です。これからもよろしくお願い致します。

髙橋　宏君・常磐重雄君

先日の地区協議会数多くの参加、大変ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

井手一幸様

突如転勤した井手です。このたびは、RCを退会しましたのに、妻の誕生日にあたってとってもきれいなお花を頂戴しありがとうございました。厚木RCの皆様の暖かいお心づかい感謝します。また、盛升飲みに伺います！ありがとうございました。

西迫一郎君

誕生日53回目、結婚記念日16年目有難うございます。

会田義明君

先日の日曜日地区協議会に参加された皆様お疲れ様でした。また、髙橋さん常磐さんご苦労様でした。本日は誕生日のお祝いありがとうございます。併せてスマイルさせていただきます。

板井浩司君

誕生日のお祝いを頂きありがとうございます。厚木に来た時はまだ40台だったのですが、29日で52才になります。加速する時の速さに苦笑いです。

滝澤　勇君

結婚記念日のお祝いをありがとうございました。結婚後38年が経ち娘と息子に合わせて6人の孫ができ、にぎやかな大家族になりました。

今日のお花

カラー（壽永純昭君）

今日のお祝い　「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

＊誕生日
米山尚登君（11日）

＊結婚記念日
田口周介君（13日）

今日の例会（2013年５月７日）

「交通事故の実務について」

担当：常磐重雄君

次回の例会（2013年５月14日）

「交通安全について」

担当：本多正彦君

卓話「日本人にとって桜とは何なのか」

担当：西迫一郎君

日本人にとって桜（さくら）とは何なのか

現代人が愛するソメイヨシノと本居宣長が古事記の時代を思い、こよなく愛した山櫻について

西迫一郎

桜の定義

- **サクラ（桜）**は、バラ科サクラ亜科サクラ属(Prunus, Cerasus)の落葉樹の総称。
- 日本においてはサクラは開花が話題となる点において、他の植物とは一線を画す存在である。現在ではメディアなどで俗に、単に「桜」と言うと、桜の中で極端に多く植えられている品種のソメイヨシノの事を指すことも多い。
- サクラの果樹はサクランボ（チェリー）として食用にされる。サクランボは世界的に利用されており、英語では桜の花のことをCherry blossom（チェリーの花）と呼ぶのが一般的だった。ただし、近年では日本語からsakuraと呼ばれることも増えている。

桜の分類

- サクラ属 *Prunus* は約400種からなるが、主に果実の特徴から5～7の亜属に分類される。
- サクラ亜属 subg. *Cerasus* はその1つである。これらの亜属を属とする説もあり、その場合、サクラ亜属はサクラ属 *Cerasus* となる。
- サクラ亜属は節に分かれ、それらは非公式な8群に分かれる。

品種

- サクラ節 sect. *Cargentiella* (sect. *Pseudocerasus*)
  - ヤマザクラ群 - ヤマザクラ、オオヤマザクラ、カスミザクラ、オオシマザクラなど
  - エドヒガン群 - エドヒガンなど
  - マメザクラ群 - マメザクラなど
  - チョウジザクラ群 - チョウジザクラなど
  - カンヒザクラ群 - カンヒザクラなど
  - サトザクラグループ（雑種からなる群）
- ミザクラ節 sect. *Cerasus*
  - ミザクラ群 - セイヨウミザクラなど
- ミヤマザクラ節 sect. *Phyllomahaleb*
  - ミヤマザクラ群 - ミヤマザクラなど
- ロボペタルム節 sect. *Lobopetalum*
  - シナミザクラ群 - シナミザクラなど

その歴史

- 桜は穀物の神が宿るとも、稲作神事に関連していたともされ、農業にとり昔から非常に大切なものであった。また、桜の開花は、他の自然現象と並び、農業開始の指標とされた場合もあり、各地に「田植え桜」や「種まき桜」とよばれる木がある(あった)。これは桜の場合も多いが、「桜」と名がついていても桜以外の木の場合もある。
- 『万葉集』には色々な植物が登場するが、桜もその一つである。しかし、中国文化の影響が強かった奈良時代は和歌などで単に「花」といえば梅をさしていた。万葉集においては梅の歌118首に対し桜の歌は44首に過ぎなかった。その後平安時代に国風文化が育つに連れて徐々に桜の人気が高まり、「花」とは桜を指すようになる。

精神性の象徴としての桜

- 桜では開花のみならず、散って行く儚さや潔さも、愛玩の対象となっている。古くから桜は、諸行無常といった感覚にたとえられており、ぱっと咲き、さっと散る姿ははかない人生を投影する対象となった。
- 江戸時代の国学者、本居宣長は「敷島の大和心を人問はば朝日に匂ふ山桜花」と詠み、桜が「もののあはれ」などと基調とする日本人の精神具体的な例えとみなした。
- 潔よさを人の模範と見て、江戸時代以降しばしば武士道のたとえにされてきた。ただし、そのようにすぐに花が散ってしまう様は、家が長続きしないという想像を抱かせたため、意外と桜を家紋とした武家は少ない。明治時代に新渡戸稲造が著した『武士道』では「武士道（シヴァリー）とは日本の象徴たる桜の花のようなもの」と冒頭に記している。武士道を美徳とした旧日本軍では、潔く散る桜が自己犠牲のシンボルとして多用された（特攻機桜花など）。たとえば「花（華）と散る」という言葉は戦死や殉職の暗喩である。歩兵の本領、あゝ紅の血は燃ゆる、同期の桜など、歌詞にそうした表現を反映した軍歌も数多く作曲され、戦中非常に良く歌われた。

桜の人気

- 桜は春を象徴する花として日本人にはなじみが深く、春本番を告げる役割を果たす。桜の開花予報、開花速報はメディアを賑わすなど、話題・関心の対象としては他の植物を圧倒する。入学式を演出する春の花として多くの学校に植えられている。
- 携帯電話サイトによる調査では、回答者の8割が桜を「とても好き」と答えた。九州から関東での平地では、桜が咲く時期は年度の変わり目に近く、桜の人気は様々な生活の変化の時期である事とも関係する。

- 日本ではサクラは公式には国花ではないものの、事実上、国花のように扱われている。
- 日本では旧帝国海軍や警察官の階級章は、他国なら星形を使うべき所を桜花で表している。自衛隊においても、陸海空を問わず、階級章や旗で桜の花を使用した意匠は数多い。
- 1967年（昭和42年）以降、百円硬貨の表は桜のデザインである。
- 全米桜祭りで知られるアメリカ合衆国のポトマック河畔の桜は日米友好のために東京市長の尾崎行雄が寄贈したものであり、この返礼として日本にはハナミズキが贈られている。その他の国との間でも友好のために贈ることがある。

出典：wikipedia

ソメイヨシノ

ソメイヨシノ

- ソメイヨシノは育苗がしやすい。
- 匂うとは、色が染まる・照り輝く・触覚・視覚的意味
- 入学シーズンに開花しその花の繚乱さ、　散り際の潔さが好まれ、明治政府が学校の校庭に植えることを推奨した
- もともと寿命が短く５０年ほどの寿命

明治時代以前の櫻とは…

- 本居宣長（解釈：小林秀雄）

敷島の大和心を人問わば、
朝日に匂ふ山櫻花

源氏物語・今昔物語（平安時代）
大和魂・大和ごころとは生きた知恵のこと。
←→　学問により習得した知識（漢文）
勉強ばかりしていると馬鹿になると考えた。

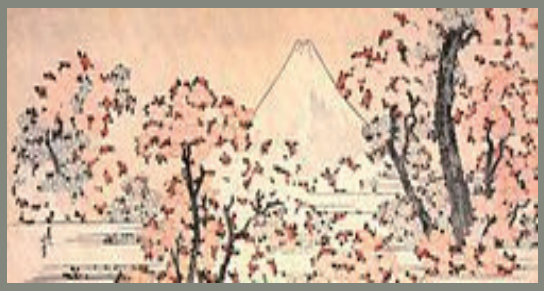
桜のついでに日本文学を語ると…

- 学問（外国から押し寄せる波）と戦わないといけなかった。
- 古事記は漢文で漢文の翻訳をしたもの。これを発見したのは宣長。
- 話し言葉としての日本文を、仮名のないころに日本文で散文を書きたかった
- 漢文の訓読は日本独自（英文和訳のようなもの）

古事記（古事記伝）について…

- 宣長の直観と想像力によって1000年後にやっと読めるようになった。
- 稗田阿礼の暗記（口調）を太安万侶が漢文風に筆記したもので、すぐ読めなくなった。
- 当時、どのように読まれていたかはわからない。宣長の読み方（訓読）は創作。

葛飾北斎の富士山と櫻



日本五大桜

- 大正１１年に国の天然記念物として制定された桜を指す。
- このうち、神代桜、淡墨桜、滝桜を日本三大桜ということもある。

三春滝桜（紅枝垂れ／福島）

狩宿下馬桜（駒止の桜／静岡）

根尾谷淡墨桜（第2位の老樹／岐阜）

山高の神代桜（最古木／山梨）

石戸蒲桜（源範頼由来／埼玉）

４月 21 日地区協議会

出席報告　＜会員 38 名、出席対象 33 名＞

4 月 9 日例会　　確定出席率 96.97％	4 月 23 日例会　　出席 26 名　欠席 8 名　出席率 78.79％
＜事後メイク＞ 黄金井康巳君(4/21 地区協議会) 前田賢一君(4/21 地区協議会)	＜事前メイク＞ 常磐重雄君(4/21 地区協議会) ＜欠席＞ 田口周介君・柳田純昭君・今　和宏君・丸田隆弘君・吉川博宣君 米山尚登君・金沢文明君